

令和7年度建設コンサルタント業務等発注予定

No.	業務の名称	対象業務 の区分	業務区分	履行期間	業務の概要	公示 予定時期
1	国総研（立原）管理研究本館外内装改修設計業務（仮称）	⑤未定	②建築	6ヶ月間	国総研（立原）管理研究本館及び都市防災研究センター様の内装改修の設計を行う。	2四半期
2	国総研（旭）研究本館（24）建替計画基本検討業務	②簡易公募型 プロポ(拡大型)	②建築	7ヶ月間	本業務は、研究本館の建替を行うための基本計画を検討するものである。	1四半期
3	国土技術政策総合研究所（つくば地区）の情報セキュリティ対策およびシステム設計に係るあり方検討業務	②簡易公募型 プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	本業務は国土技術政策総合研究所（つくば地区）における情報セキュリティ対策および情報セキュリティ対策を考慮した基幹システムの設計に係るあり方の検討を行うものである。	1四半期
4	上下水道施設における応急復旧技術の選定ツールの作成	②簡易公募型 プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	本業務は、上下水道施設における応急復旧技術のコスト等算定式を踏まえて、被災状況や被災原因に基づいた応急復旧技術の選定ツールの作成を行うものである。	2四半期
5	水道管路の更新優先度評価に向けた基礎的検討業務(仮)	②簡易公募型 プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	水道管路を対象として、重要施設への接続の有無等を含めた視点から更新の優先度を評価するための基礎的検討（優先度を評価するために必要な因子の抽出、因子に対する重み付けの必要性等）を行う。	1四半期
6	水供給工程における省エネ・創エネ施策の効果に関する情報収集整理業務(仮)	②簡易公募型 プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	取水から配水までの水供給工程を対象として、事業体で実施している省エネルギー・創エネルギー施策及び施策の実施による消費電力量削減効果について情報の収集・整理を行う。	1四半期
7	下水道分野における技術開発のあり方に関する情報収集及び整理業務	②簡易公募型 プロポ(拡大型)	③土木	11ヶ月間	下水道分野の技術開発のあり方に関する情報収集及び整理を行う。	1四半期
8	令和7年度下水道管さよ布設・道路陥没に関する実態調査分析業務	②簡易公募型 プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	下水道管さよ布設状況及び道路陥没に関する実態調査・分析を行う。	1四半期
9	令和7年度マンホール蓋設置基数・起因事故に関する実態調査分析業務	②簡易公募型 プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	マンホール蓋設置基数及びマンホール蓋起因の事故に関する実態調査・分析を行う。	1四半期
10	大口径下水道管路等における点検・調査及び改築・修繕手法に係る情報収集整理業務	②簡易公募型 プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	大口径管路等における点検・調査及び改築・修繕手法に係る情報収集整理を行う。	1四半期
11	大口径下水道管路における異常発生傾向・道路陥没発生傾向分析	②簡易公募型 プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	大口径管路における異常発生傾向や道路陥没発生傾向に関する分析を行う。	1四半期
12	下水処理場での能動的運転管理による影響評価に関する解析業務	②簡易公募型 プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	下水処理場での能動的運転管理による影響評価に関する解析を行う	1四半期
13	流域を俯瞰した下水処理水等の負荷源に関する情報収集整理業務	②簡易公募型 プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	閉鎖性水域とその流域において、負荷源について既存の水質データの収集整理を行う。	1四半期
14	流域を俯瞰した下水処理水等の放流先水質への影響調査業務	②簡易公募型 プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	閉鎖性水域とその流域において、負荷源に関する現地調査を行う。	1四半期
15	既存の雨水浸透施設における維持管理の実態等に関する調査業務	②簡易公募型 プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	都市浸水対策として設置された既存の雨水浸透施設の諸元や維持管理等の実態について調査するとともに、実態調査結果を踏まえた雨水浸透施設の能力評価のための実験条件について整理を行う。	2四半期
16	気候変動の影響を踏まえた浸水対策施設の段階的整備に関する調査業務	②簡易公募型 プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	気候変動の影響を踏まえた浸水対策施設の段階的整備にあたって、海外の都市の事例等を参考に圧力状態を許容した場合の利点や課題について整理する。	2四半期
17	下水道管路の布設条件を踏まえた地震被災危険度判定ツールの作成業務	②簡易公募型 プロポ(拡大型)	③土木	9ヶ月間	下水道台帳やアクセス可能な情報から地震時の下水道管路被災危険度を推定するため、既存の被災情報等のデータ整理・分析を行い、地震被災危険度判定ツール・マニュアルの整理を行う。	1四半期
18	地震対応における下水道管路電子台帳要求機能整理業務	②簡易公募型 プロポ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	地震対応において必要となる下水道管路電子台帳の機能について整理をすると共に、下水道管路電子台帳の対応状況について情報収集整理を行う。	1四半期
19	地震対応における下水道管路電子台帳データ交換標準仕様作成業務	②簡易公募型 プロポ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	地震対応において下水道電子管路台帳を用いて、他団体と受渡すことが有効なデータ項目・内容を調査し、受渡しを容易にするためのデータ交換標準仕様について整理を行う。	1四半期
20	下水道管路電子台帳を利活用した効率的な地震対応方策整理業務	②簡易公募型 プロポ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	地震対応において下水道管路電子台帳を利活用することによる省人化・省力化に資する方策について整理を行う。	1四半期

No.	業務の名称	対象業務 の区分	業務区分	履行期間	業務の概要	公示 予定時期
21	(仮) 下水処理に伴う一酸化二窒素の排出係数改定に向けた調査検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	本業務は、下水処理に伴って排出される一酸化二窒素の排出係数を改定するために必要なデータを収集するために、国内外における調査結果を整理するものである。	1四半期
22	令和7年度 下水道革新的技術の評価のための情報収集・整理業務	①一般競争 (総合評価)	③土木	8ヶ月間	本業務は、令和7年度に行う下水道革新的技術(以下、「革新的技術」とする)の実規模実証研究及びF S調査に関して、革新的技術の評価を適切に行うための基礎資料として、比較対象となる既存技術の情報の収集・整理や簡易算定式の作成のほか、有識者等への意見聴取を行うものである。なお、革新的技術そのものの評価は、本業務とは別に実施される。	1四半期
23	【仮】下水道の脱炭素化に資する地域社会の全体最適化に関する調査検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、下水道の脱炭素化の観点から、地域社会を含めた全体最適のあり方について整理を行うための調査検討、および有識者への意見聴取を実施するものである。	1四半期
24	【仮】下水汚泥の有効利用時の温室効果ガス排出量およびライフサイクルコストに関する調査検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	本業務は、下水汚泥の有効利用における温室効果ガス排出量およびライフサイクルコストについて、定量的な評価を行うための手法の検討を実施するものである。	2四半期
25	【仮】小規模下水処理場における下水汚泥の脱水の効率化に向けた調査検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	4ヶ月間	本業務は、小規模下水処理場におけるエネルギー自立化のための一手法として下水汚泥の脱水工程に着目し、脱水の効率化に資する調査を実施するものである。	2四半期
26	衛生学的水質リスクを考慮した下水再生利用促進に関する検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	本業務は、国土交通省が上下水道一体となつてことを踏まえ、水の循環利用について水利用の仕方を考慮した下水再生水の利用可能性について検討し、下水再生利用促進に必要な情報を整理するものである。	1四半期
27	既存施設を活用した基準達成のための運転管理手法の検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	既存下水処理施設を活用した下水再生水利用に必要な情報を整理し、適切な運転管理等にひつつような条件を整理するものである。	2四半期
28	地域特性の変化に適應する上下水道施設の段階的な整備に関する検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	9ヶ月間	令和6年能登半島地震を踏まえ、まちづくり復興計画等の情報収集・整理を行い、複数の将来人口推計を踏まえた上下水道施設に係る計画フレームの設定を行う。また、設定した計画フレームを用いて、時間軸を踏まえた段階整備の考え方を整理する。	1四半期
29	河道の二極化に関する移動床水理模型実験業務その2	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	9ヶ月間	河道の二極化現象のメカニズムを把握することを目的に、国土技術政策総合研究所の実験施設で移動床水理模型実験等を行う。	1四半期
30	洪水流解析・河床変動解析の高度化及び標準化に関する調査業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	洪水流解析・河床変動解析の高度化及び標準化を目的に、発注者が開催する研究会等での意見収集するとともに、技術資料のとりまとめ等を行う。	1四半期
31	給水設備改良に関する施設能力評価及び設計業務	①一般競争 (総合評価)	③土木	6ヶ月間	国土技術政策総合研究所が有する既存の実験施設の給水設備の能力評価や維持管理方策を検討するとともに、改良方策の比較検討及び概略設計を行う。	1四半期
32	令和7年度河道基盤情報化アプリ設計・構築業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	9ヶ月間	河道の基盤データのクラウド化に対応したデータベースシステムとして「河道基盤情報化アプリケーション」の開発を進めるため、本システムの概略設計、詳細設計等を行う。	1四半期
33	堤防越水実験業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	越水した場合でも粘り強い河川堤防の構造を検討するため、実物大の堤防模型を製作し、堤防模型の壊れ方等を確認する越水実験を行う。	2四半期
34	堤防の耐侵食力に関する実験業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	8ヶ月間	堤防土羽の耐侵食力に関する土質等の影響について、土の引張破壊応力試験や、水理模型実験により、検討を行う。	1四半期
35	緩傾斜型落差工の設計手法に関する水理実験業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	ブロックを使った屈撓性構造の緩傾斜落差工を対象に、設計方法の高度化に資する水理模型実験を行う。	2四半期
36	越流堤の設計手法に関する水理実験業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	9ヶ月間	越流堤の標準的な設計方法の確立を目的に、越流堤の壊れ方を確認するための水理模型実験を行う。	1四半期
37	海面上昇を踏まえた効率的な砂浜保全対策検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、等深線変化モデルによる海浜地形の将来予測を踏まえた効果的な侵食対策を検討するものである。	1四半期
38	衛星画像による全国砂浜の海岸線データ作成業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、全国の砂浜の海岸線データベース構築に向け、海岸線の抽出精度向上を図るとともに、過去に撮影された衛星画像から海岸線を抽出するものである。	1四半期

No.	業務の名称	対象業務 の区分	業務区分	履行期間	業務の概要	公示 予定時期
39	海面上昇による離岸堤等の改良時の外力条件 検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、離岸堤等の海岸保全施設を気候変動に伴い生じる海面上昇を考慮した外力に 適応するように改良することを想定して、詳細 設計のための外力設定手法について検討する ものである。	2四半期
40	外洋に面した海岸における高潮浸水リスクの 評価手法検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、波浪の影響が大きい外洋性海岸に おいて、高潮浸水リスクの評価手法を検討す るものである。	2四半期
41	防災情報発出のための波浪うちあげ高予測シ ステム改良等業務	③参加確認公 募	③土木	7ヶ月間	本業務は、防災情報として波のうちあげ高予 測情報を発出するために必要な気象庁予測 データの変更に対応するシステムの改良等を 実施するものである。	2四半期
42	治水評価指標可視化ビューアの機能改良及び 構築業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	9ヶ月間	本業務は、治水評価指標可視化ビューアにつ いて機能改良を行い、約70水系で同ビューア の構築を行うとともに同ビューアの仕様書の 更新を行うものである。	1四半期
43	流域デジタルツイン地形・地物データ作成プ ラグイン改良及び試行業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	9ヶ月間	本業務は、流域デジタルツインのための地 形・地物データ作成プログラムの改良を行う とともに、約70水系の3次元簡易建物モデル の作成を行うものである。	1四半期
44	D T B 段階運用整備設計業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	9ヶ月間	本業務は、流域DPFとの調整を図りつつ、既存 アプリ群を繋ぐDTB（デジタルテストベッド） のU I（ユーザーインターフェイス）を設 計・整備するとともに、それらを使う段階運 用要領案を作成する業務である。	1四半期
45	洪水予測モデルの計算妥当性の確認方法の整 理および洪水計算過程可視化機能の設計・構 築業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	8ヶ月間	本業務は、洪水予測モデルの検証・改良に必 要な洪水計算の妥当性の確認方法の標準化を 進めるとともに、洪水計算過程可視化機能お よび共通機能の設計・構築等を行うものであ る。	1四半期
46	洪水予報基礎データベースの設計・構築およ び基準水位に係る調査・試算業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	8ヶ月間	本業務は、洪水予報の検証・改善および洪水 予報モデルの検証・改良に必要な洪水予報の 基礎データのデータベースを設計・構築する とともに、洪水予報の発表と基準水位との関 係について調査を行うものである。	1四半期
47	洪水予測モデルの計算負荷の計測方法の整理 およびモデル制御・監視機能の設計・構築業 務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	8ヶ月間	本業務は、洪水予測モデルの検証・改良に必 要な計算負荷の計測方法の標準化を進めると ともに、洪水予測モデルのデータ入出力やロ グ取得・分析等を行うモデル制御・監視機能 の設計・構築を行うものである。	1四半期
48	クラウド環境における洪水予測モデルの高速 化手法の整理および試行業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、洪水予測モデルの計算高速化を目 的として、流域の計算手順やHPC技術等による 計算高速化手法の整理を行い、クラウド環境 においてモデルの検証を実施し、計算負荷や 精度等の評価の試行を行うものである。	1四半期
49	流域デジタルツイン降雨データ処理及び流出 抑制対策による治水効果の試算業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	8ヶ月間	本業務は、流域デジタルツインのための降雨 データ利用支援プログラムに新たな降雨デー タを追加するとともに、降雨データ利用支援 プログラム、構造・非構造格子作成プログラ ム、流域治水検討用一体型モデルを用いて、 流出抑制対策による治水効果を試算するも のである。	1四半期
50	S A R 衛星画像の河川水面特性を用いた水位 推定試算及び現場計測試行業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	9ヶ月間	本業務は、洪水予測の精度向上及び氾濫位置 の精度向上を目的として、SAR衛星画像による 水面認識技術を用いて洪水の連続縦断水位の 推定及び現地計測と連携した撮像を行い、推 定精度向上を行うものである。	1四半期
51	気候変動を踏まえた水資源政策に資する解 析・データ整理業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	8ヶ月間	本業務は、再解析データを用いた少雨傾向の 把握や水利用量の将来目標値算出のための データ整理等を行うものである。	1四半期
52	複数の長期アンサンブル気候予測データを用 いた洪水時における降雨特性の将来変化に関 する整理業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	8ヶ月間	本業務は、複数の長期アンサンブル気候予測 データを用いて、洪水時における降雨特性の 将来変化に関するデータ整理を行うものであ る。	1四半期
53	気候変動を踏まえたダム貯水位変動の将来変 化に関する検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	8ヶ月間	本業務は、気候予測モデルの出力結果等を用 いた長期間連続計算(ダム流入量・貯水位等) を実施し、気候変動下における年間降雨量の 月別変化や渇水頻度の変化を考慮したダム貯 水位変動の将来変化を検討するものである。	1四半期
54	ダム技術支援ツールの設計業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、ダムの調査・設計・施工等に関す る各種情報を蓄積し、個別のダム事業の課題 に応じて必要な情報を提供する「ダム技術支 援ツール」の構築を行う。	1四半期
55	ダムの距離減衰式の検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、平成23年以降の地震記録も踏まえ た回帰係数の算出や補正倍率の評価（統計的 分析）等を行うことで、ダムの距離減衰式に 関する検討を実施する。	1四半期

No.	業務の名称	対象業務 の区分	業務区分	履行期間	業務の概要	公示 予定時期
56	デジタルダムデータベースシステム機能追加等業務	③参加確認公募	③土木	8ヶ月間	建設時から維持管理、再開発時の各段階で用いることが可能な一貫した各種ダムに関するデータを保存・活用するための、デジタルダムデータベースの機能追加を行う。	1四半期
57	洪水による家屋倒壊リスク評価及び減災対策効果評価手法調査業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	11ヶ月間	既存ハザード情報をもとに倒壊した家屋が位置する水理的特徴を分析する。さらに分析結果から各地域単位における新たな家屋倒壊危険度指標の構築に向けた課題整理を行い、新たな指標を作成し、家屋倒壊リスクを評価する。併せて、減災対策効果を評価する手法についても検討する。	1四半期
58	浸水センサを活用した内外水氾濫解析手法調査業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	11ヶ月間	これまでに開発・研究されている、浸水把握技術を活用したものも含む浸水予測技術について、事例収集を行う。 さらに、浸水センサを用いて内外水一体の洪水氾濫の把握やその予測を行った上で、浸水把握・予測を行うための合理的な浸水センサ設置箇所に関する検討を行う。	1四半期
59	治水経済調査への活用に向けた既往水害調査資料整理業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	治水経済調査への活用の観点から、水害研究室に蓄積されている水害調査やヒアリング結果の再整理を行い、治水経済調査マニュアル等での便益としての取り扱い方策について、検討を行う。	1四半期
60	地方自治体の既存情報共有ツールへの水防活動支援情報共有機能の組み込み手法調査業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	水防団、自治体の水防活動実施状況や河川水位をリアルタイムで共有する「水防活動支援情報共有システム」に関するこれまでの研究成果を踏まえて、地方自治体が保有する既存の情報共有ツールへ、効率的な水防活動を支援するための機能を付加する手法の調査を行う。	1四半期
61	未経験降雨指数解析・表示システム（仮称）評価及び改良検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	5ヶ月間	未経験降雨指数解析・表示システム（仮称）α版の運用評価及び改良を行う。	1四半期
62	降雨出現確率法に基づく応答曲面作成手法の改良検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	降雨出現確率法に基づく応答曲面作成手順の改良方法の検討を行う。	1四半期
63	がけ崩れ等の堆積深分布の整理分析業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	がけ崩れ発生箇所の降雨確率規模と到達距離及び堆積深の関係について整理する。	1四半期
64	土砂移動の誘因を考慮したSARによる土砂移動箇所調査手法検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	土砂移動の誘因を考慮した上で、SAR画像を用いて土砂移動の可能性が高い領域を自動抽出する手法を検討する。	1四半期
65	異常検知技術を用いた流砂水文観測データの異常検知手法検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	流砂水文観測データに異常検知技術を適用することで、上流の土砂移動の発生が疑われるイベントを検知する手法を検討する。	1四半期
66	河道閉塞対策ナビゲーションシステム設計検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	5ヶ月間	河道閉塞対策ナビゲーションシステムの設計を実施する。	2四半期
67	急傾斜地崩壊対策に関する情報の整理分析業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	急傾斜地崩壊対策に関する情報を整理し、分析する。	1四半期
68	ローカル版土砂災害データベース作成検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	土砂災害データベースのローカル版を作成し、他の砂防関係システムとの連携のあり方に浮いて検討する。	1四半期
69	常時観測交通量データによる交通量推定方法の実装に関する業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	5ヶ月間	常設トラカン及びCCTVトラカンの観測値を用いた交通量推定方法を実装するためのツール改修を行うとともに、交通量推定に必要なパラメータ様式等の更新を行う。	2四半期
70	画像認識技術を用いた交通量観測の高度化に関する検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	AI画像解析による自動車交通量計測ツールについて、全国各地での交通量調査結果を踏まえた精度検証及びツールの機能等改修を行うとともに、歩行者・自転車交通量計測への適用性検証を行う。	2四半期
71	AIモデルを用いた渋滞予測の実務適用に関する業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	AIモデルを用いた渋滞予測の効果的な情報発信手法を検討するとともに、予測プログラムの操作手順について道路管理者向け解説資料の作成補助を行う。	1四半期
72	常時観測OD交通量推定・精度検証に関する業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	ETC2.0プローブ情報等を用いた常時観測OD交通量の推定を行うとともに、時間常別のOD交通量推定の精度検証を行う。	1四半期
73	電動大型車両の性能特性を考慮した道路幾何構造基準の検討に関する業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	燃料電池自動車・電気自動車など非内燃機関車両の走行性能特性を考慮した、縦断勾配・登坂車線など道路幾何構造基準の算定方法（素案）の検討等を行う。	1四半期
74	サービスレベルによる道路交通状況の評価手法の検討に関する業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	旅行速度を含む複数のサービス指標による道路交通状況の評価にあたり、サービスレベルの閾値の検討等を行う。	1四半期

No.	業務の名称	対象業務 の区分	業務区分	履行期間	業務の概要	公示 予定時期
75	道路構造等による交通容量への影響の分析等に関する業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	道路構造等による交通容量への影響を分析し可能交通容量を算出する際の補正係数の検討を行うとともに、時間単位のボトルネックの交通状況の評価手法の検討を行う。	1四半期
76	道路事業の多様な効果の把握手法の検討に関する業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	道路ネットワーク利用の適切性に関する評価指標の試算や、その他多様な効果の把握手法の検討等を行う。	1四半期
77	歩行空間・自転車通行空間の交通安全対策手法検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	ビッグデータ等を活用した交通安全上の課題把握・効果の評価の合理化検討、凸部の設計や歩行者・自転車通行空間の設計に必要な走行実験を行うものである。	1四半期
78	防護柵の衝突シミュレーション出力結果と活用手法に関する整理業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	防護柵の衝突シミュレーションの出力結果を整理するとともに、シミュレーションの活用可能性や今後の活用手法について整理するものである。	1四半期
79	令和7年度 交通事故データを用いた交通事故発生状況の整理業務	①一般競争 (総合評価)	③土木	7ヶ月間	交通事故データベースなどをもとに、交通事故発生状況の経年変化や道路状況別、事故類型別、当事者種別別などの集計を行い、交通事故発生状況の整理を行うものである。	1四半期
80	一般道での自動運転移動サービス車両の混入を考慮した交通安全に資する道路空間の検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	自動運転移動サービスの安全な走行に資する道路空間上の対策に関する効果検証事例の整理、課題に対応する交通安全対策手法の検討等を行うものである。	1四半期
81	冬期交通障害に関する速度低下情報の活用方法に関する調査	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	8ヶ月間	ETC2.0プローブ情報等から得られる速度低下等の冬期の交通状況について、道路管理者や道路利用者への効果的な提供方法を整理するものである。また、ETC2.0プローブ情報による道路構造及び交通安全施設等の設置効果を分析するものである。	1四半期
82	視覚障害者の誘導方法に関する調査業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	8ヶ月間	交差点付近において視覚障害者が安全かつ円滑に通行及び信号待ちができるよう、交差点の隅角部や横断歩道接続部への視覚障害者誘導用ブロック等の適切な設置方法に関する現地調査や評価実験を実施するものである。	1四半期
83	ロードキル対策に関する調査検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	8ヶ月間	生態系の維持に必要なロードキル対策について、対策効果の分析方法の検討、対策モニタリング調査等を実施するものである。	1四半期
84	自動車走行時の二酸化炭素排出係数の活用手法検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	9ヶ月間	大型車、小型車の二車種区分別の二酸化炭素排出係数を算定するとともに、排出係数の活用手法を整理するものである。	1四半期
85	人中心の道路空間の運用等に関する調査整理業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	人中心の道路空間の実現に向けて、滞留空間等の運用状況や実態についての調査および結果の整理を行うものである。	1四半期
86	電線共同溝に用いる管路材の要求性能等検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	8ヶ月間	電線共同溝管路材試験実施マニュアル(案)の更新素案に関する電線管理者や道路管理者等の意見等を把握し、管路材の要求性能の検討を行うものである。	1四半期
87	排水側溝活用によるコスト縮減方策の検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	8ヶ月間	排水側溝の活用による技術的課題の抽出に向け、道路管理者等を対象に課題や工夫点を調査し、コスト縮減方策を検討するものである。	1四半期
88	電線共同溝施設の維持管理に関する調査業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	電線共同溝施設の通常時、非常時における維持管理の検討を行うため、道路管理者等を対象に実態を調査するものである。	1四半期
89	令和7年度 一般国道における自動車交通騒音パワーレベルに関する調査業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	一般国道における自動車交通騒音パワーレベルを測定し、結果を解析・整理するものである。	1四半期
90	道路管理における二酸化炭素排出量の推計調査業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	道路管理者が直接排出する二酸化炭素量の年間排出量について、総量及び分野別の排出量推計を行うものである。	1四半期
91	重量違反車両検知システムの構築及び効果検証業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	10ヶ月間	本業務は、重量違反の可能性が高い車両を検知するシステムについて、システムの機能要件定義、設計書の作成等を行い、プロトタイプ構築と実証実験等を行うものである。	4四半期
92	ETC2.0プローブデータ処理システムの検証等業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	11ヶ月間	本業務は、ETC2.0プローブ情報をより利便性の高い情報とすることを目的に、新たなETC2.0プローブデータ処理システムについて動作環境の整備、検証等を行うものである。	4四半期
93	一般道の路車協調システムに関する調査検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	9ヶ月間	本業務は、一般道の路車協調システムについて、実証実験結果の集計・分析、技術基準(素案)等の作成を行うものである。	1四半期

No.	業務の名称	対象業務 の区分	業務区分	履行期間	業務の概要	公示 予定時期
94	構造の機能の状態に着目した道路橋の試設計業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	道路橋示方書・同解説(平成29年11月)に基づき詳細設計が行われている橋梁に対し、上部構造等の限界状態と着目する部材等の限界状態の組合せを評価し直し、必要となる部材断面の再評価を行い設計合理化の余地と実務上の課題を整理する。	1四半期
95	落橋防止構造等の性能照査法の検討に関する 載荷試験業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	落橋防止構造やダンパー等の取付け部が地震の統廃に対して抵抗できるよう外力としての衝撃力や衝撃に対する抵抗機構を明らかにするため、これらの外力を模擬する載荷試験設備の製作及び載荷試験を行う。	1四半期
96	外ケーブルを有するコンクリート道路橋の実 橋計測等業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	外ケーブルを有するPC橋や波形鋼板ウエブ橋の応答の実橋計測による温度勾配荷重などの推定をする。また、既設橋の外ケーブルの現地調査と点検結果の整理を通じて、外ケーブルに対する損傷程度の評価方法で考慮すべき事象の整理を行う。	1四半期
97	特殊橋の耐震補強設計法の整理分析業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	過去に耐震補強の検討を行ったアーチ橋、トラス橋、斜張橋の設計図書等を分析し、部材間の最小限の荷重伝達経路を適切に考慮して部材等の限界状態を設定することで橋の限界状態3を超えないように設計を行うための手順、荷重伝達経路の設定法、計算結果や設計成果の表示・まとめ方法の標準化を行うために必要な整理検討を行う。また、検証のため、橋の動的解析等を行う。	1四半期
98	既設橋の信頼性評価・修繕試設計業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	既設橋について、実際の構造内での荷重分担や、実際に荷重分担されている部位の耐荷、耐久性能の信頼性を評価し、システムの信頼性を評価した場合と、H29道示に基づいて橋の信頼性を評価した場合で、修繕の試設計を行い、結果に与える影響を分析する。	1四半期
99	定期点検の技術的評価に関する整理分析業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	道路橋等の定期点検結果から、所見に含まれる項目や用語の違い、所見の内容と技術的評価区分の関係を分析する。また、いくつかの既設橋を例に部材等の維持管理リスクの違いと状態把握の方法の選択の違いが性能の評価に与える性能の評価に与える影響や点検コストの変化について試算する。	1四半期
100	点検所見分析の高度化のLLM作成業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	定期点検結果における所見の分析の高度化と作業の省力化に向けて、損傷事例集、直轄診断報告書、研修テキスト、その他国総研による既設構造物に対する調査結果などの文書、並びに、関連する写真や地形などを学習させ、定期点検調査書の所見の内容・項目の違いなどを分析できる生成AIを作成する。	1四半期
101	実橋における腐食その他劣化に対する耐候性 に関する耐久期間の整理分析業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	新設・塗替塗装他の耐久性確保の方法について、点検結果の分析や実橋調査を行い、耐久性確保の方法、材料の物理的性質・化学的性質に立脚する劣化機構・過程、実橋における劣化実態の関係を整理し、劣化機構に応じた損傷程度の評価方法の見直しと設計耐久期間の設定のための統計的な分析などの基礎資料を整理する。	1四半期
102	新しい材料等を用いた道路構造物の信頼性分 析業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	5ヶ月間	「道路橋示方書」「歩道橋床版の性能確認マニュアル(案)」「道路橋の繊維補強コンクリート床版の性能確認マニュアル(案)」に示される性能及び信頼性の評価の体系を準用して、既設橋の橋梁アプローチ構造の設計図書から耐荷性能、耐久性能、維持管理の確実性と容易さについて整理、分析を行い、橋梁アプローチ構造の構造信頼性を評価するための情報の充足度を整理する。	2四半期
103	定期点検データを用いた道路橋の劣化特性に 関する分析業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	道路橋のアセットマネジメントに係る基準類を整備するための基礎資料として、複数の橋梁群の点検結果からの異質性の程度の試算、被災実態に基づく洗掘リスクの評価法の試行、限定された損傷程度の評価項目を用いたLCC試算などを行う。	1四半期
104	既設橋の活荷重安全率に関する試算業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	大型車の通行条件に応じた既設橋の安全余裕の算出、部材の損傷程度を考慮した場合の安全余裕の変化、ある部材が損傷したと仮定した場合の部材間の負担割合の増分の違いの把握など、既設橋の耐荷力評価に向けた試算を行う。	1四半期

No.	業務の名称	対象業務 の区分	業務区分	履行期間	業務の概要	公示 予定時期
105	落橋防止構造等の衝撃載荷試験に対する数値シミュレーション業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	道路橋のアセットマネジメントに係る基準類を整備するための基礎資料として、複数の橋梁群の点検結果からの異質性の程度の試算、被災実態に基づく洗掘リスクの評価法の試行、限定された損傷程度の評価項目を用いたLCC試算などを行う。	1四半期
106	道路トンネルの劣化要因に関する分析業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	11ヶ月間	本業務は、道路トンネルに発生している変状の特性を把握するため、施工データと変状との関係についての分析や、トンネルの補修補強箇所の劣化要因についての整理等を行うものである。	1四半期
107	シェッド、大型カルバート等の劣化要因に関する分析業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	本業務は、シェッド、大型カルバート等に発生している変状の特性を把握するため、施工データと変状との関係についての分析や、シェッド、大型カルバート等の補修補強箇所の劣化要因についての整理を行うものである。	1四半期
108	橋台及び周辺地盤等の一体的な挙動特性に関する解析業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	橋台・背面盛土・基礎地盤の一体的な挙動特性を把握するための数値解析を行う。	1四半期
109	既設トンネルの地震時覆工崩落対策に関する覆工載荷実験	①一般競争 (総合評価)	③土木	6ヶ月間	本業務は、既設トンネルに対する覆工崩落対策工に求められる要件の提示をするための基礎資料を得るため、既設トンネルの地震時覆工崩落対策に関する覆工載荷実験を実施するものである。	1四半期
110	地震による被害を受けた道路トンネルの調査業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、既設トンネルに対する覆工崩落対策工に求められる要件の提示をするための基礎資料を得るため、覆工崩落のリスクが高い地質・地盤条件の調査・分析を実施するものである。	2四半期
111	道路トンネルにおける作用に関する解析業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	5ヶ月間	本業務は、道路トンネルの性能規定化に向けて、道路トンネルにおける作用の設定に関する整理及び試算を行うものである。	2四半期
112	令和7年度舗装の定点調査等業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	全国14箇所の舗装区間(1区間100m)を対象にひび割れ調査やFWD調査等の調査を実施し、結果を整理する。さらに、定点調査実施箇所(65箇所)の工事成果品データを対象に、舗装の劣化に影響を与える可能性のある項目について整理する。	1四半期
113	道路土工構造物の性能規定化検討及び定期点検分析業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	道路の機能は、道路ネットワークとして统一的に確保することが求められていることを踏まえ、道路土工構造物(盛土構造)の性能規定化の観点から盛土構造における性能の分類を実施するものとする。 また、令和5年度より開始された2巡目点検結果について、過年度に整理した各指標や1巡目点検結果と2巡目点検結果から変化があった診断区分について、整理・分析するとともに、道路土工構造物点検要領の改定について検討を実施するものとする。	1四半期
114	道路のリスクアセスに関する業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	道路リスクアセスメントの試行を行う	1四半期
115	複数の衛星を活用した道路被災状況調査に関する検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	複数の衛星を活用し、道路被災状況調査を実施する手法の検討を行う。	1四半期
116	無人航空機を活用した道路被災状況調査の実現場での試行等に関する業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	無人航空機を活用した道路被災情報システムの実現場での試行及び試行結果を踏まえた改良を行う。	1四半期
117	確定論を用いた地震動評価手法に関する業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、観測地震動の道路構造物への影響の評価を行うものである。	1四半期
118	モニタリングシステムサーバ改良業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、モニタリングシステムサーバの改良を行うものである。	1四半期
119	レーダ雨量を用いた事前通行規制手法の検討業務(その3)	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、レーダ雨量を用いた事前通行規制手法の検討を行うものである。	1四半期
120	住宅性能表示事項の体系的整理に関する調査業務(仮)	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	②建築	6ヶ月間	住宅性能表示に係る消費者ニーズや事業者ニーズ、技術の普及状況を踏まえ、住宅性能表示事項、要求水準、等級の設定等を技術的な観点から体系的に整理する。	2四半期
121	マンション省エネ改修の効果の推計ツールの開発に向けたデータ整理及び活用に向けた調査業務(仮)	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	②建築	9ヶ月間	マンションの長期修繕計画の策定内容や修繕の実態を把握し、長期修繕計画作成ガイドライン等の見直しに向けた検討・整理を行うもの	1四半期
122	緑視率を指標とした緑の評価に関する調査業務	⑤未定	⑤土木又は建築	6ヶ月間	緑視率の計測値と緑化の心理的影響や健康、Well-being向上、生産性向上等の効果について、既往研究を調査するとともに、既往実験データ等を用いて定量的な分析を行う。	1四半期

No.	業務の名称	対象業務 の区分	業務区分	履行期間	業務の概要	公示 予定時期
123	人流ビッグデータを活用した建物用途規制の特例許可における審査マニュアル作成業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	⑤土木又 は建築	5ヶ月間	建築基準法第48条ただし書による特例許可の際の、中小規模施設の交通面での審査時の使用を想定し、人流ビッグデータを活用した交通量の推計手法を含む審査マニュアルの作成を行う。	2四半期
124	3次元市街地環境シミュレーションによる接道規定の特例・緩和効果の分析業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	⑤土木又 は建築	8ヶ月間	3次元市街地環境性能評価ツールを使用し、類型密集市街地（接道不良型、狭小敷地型、斜面地型、旧漁村型）をケーススタディとした接道規定の特例・緩和効果を分析する。	1四半期
125	ソフト対策を考慮した密集市街地の防災性能評価手法の社会実装に向けた改良等業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	⑤土木又 は建築	9ヶ月間	国土技術政策総合研究所において作成した、ソフト対策を考慮した密集市街地の防災性能評価手法について、ケーススタディによる検証や学識経験者への意見聴取、地方公共団体向けのガイドライン作成等を行いつつ、社会実装に向けた改良を行う。	1四半期
126	洪水を想定した市街地の避難困難性評価のための評価プロセスの検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	⑤土木又 は建築	6ヶ月間	市街地の避難困難性の評価及び避難困難地区の抽出、避難困難性の改善にかかわる検討プロセスについて、ケーススタディを実施して整理する。	1四半期
127	新技術等を用いた防災性能評価手法の検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	⑤土木又 は建築	6ヶ月間	高所カメラやドローン、SNS等を活用した新たな技術による地域防災力の向上による防災性能への効果を評価する手法を検討する。	1四半期
128	公共工事における総合評価落札方式における設定条件等に関する整理業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	8ヶ月間	本業務は、技術提案・交渉方式及び総合評価落札方式の運用改善に向け、総合評価落札方式の同種条件の設定状況に関する整理、実施状況の整理、及び各種試行の効果等に関する整理を行うものである。	1四半期
129	測量・調査・設計等業務における入札・契約状況に関する調査・整理業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	8ヶ月間	本整理は、地方整備局等が発注している業務の入札・契約の実施状況について把握するために行うものである。	1四半期
130	事業評価カルテ入力サーバ更新業務	①一般競争 (総合評価)	③土木	5ヶ月間	本業務は、事業評価カルテ入力サーバの更新のため、新サーバのセットアップ、旧サーバより新サーバへのデータ移行作業及びシステムの修正作業を行うものである。	1四半期
131	生成AIの活用動向等に関する調査・整理業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	本業務は、建設分野における生成AIの活用動向の調査に関する整理等を行うものである。	1四半期
132	次期積算システム移行及び試験運用検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	10ヶ月間	構築した次期積算システムの実運用に向けて、新土木積算システムから次期積算システムへの移行を行うとともに、次期積算システムの試験運用を実施し、次期積算システムの安定した運用方法を検討するものである。	1四半期
133	諸外国の多能工の活用・育成に関する資料整理業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	欧州を対象に多能工による施工や育成機関・方法等について、資料を取りまとめる。	1四半期
134	我が国の多能工施工による生産性向上手法の整理業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	10ヶ月間	国内の建設技能者不足について統計から整理するとともに、解決策として多能工施工について、工事日報などのモニタリングデータによる整理や、育成事例について資料を取りまとめる。	1四半期
135	維持・修繕工事の積算方法の課題に関する調査検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	維持・修繕工事を対象に積算方法の課題調査を実施し、改善検討を実施するものである。	1四半期
136	コンクリート工の品質管理効率化に向けた調査業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	コンクリート工における品質管理について各種試験・検査に関する効率化の検討を行う。	1四半期
137	3次元計測技術を用いた出来形管理にかかわる適用工種の拡大及び課題検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	3次元計測技術を用いた出来管理における適用工種の拡大及び課題への対応策を検討する。	1四半期
138	機械土工におけるICT建機の生産性の高い活用手法に関する検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	8ヶ月間	本業務は、土工におけるICT建機の生産性の高い活用ガイドライン(素案)の追加調査、施工者との意見交換を通じ、素案の改善を行うものである。	1四半期
139	建設機械からの温室効果ガス実排出量の見える化に関する検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	建設機械から温室効果ガス実排出量を見える化に関する情報を収集・整理し、見える化に必要な共通ルール(素案)を作成する。	1四半期
140	機械設備の維持管理情報可視化システム検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、機械設備ダッシュボードと3次元データとの連携検討、機械設備ダッシュボード用CSVファイル及び利用マニュアル作成を行うものである。	1四半期
141	河川機械設備の点検作業性評価要領(案)検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、河川機械設備の点検作業性評価要領(素案)の試行、点検業務説明動画作成及び点検作業性評価要領(素案)の改良検討等を行うものである。	1四半期
142	令和7年度点群データ等の保管・管理に関するシステムの改良等業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	8ヶ月間	本業務は、データ登録システムの改良検討、データ登録システムを用いたデータ登録における課題調査及び合処理システムの改良検討を行うものである。	1四半期

No.	業務の名称	対象業務 の区分	業務区分	履行期間	業務の概要	公示 予定時期
143	インフラ分野における脱炭素技術導入促進のための検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	9ヶ月間	公共事業に活用される脱炭素技術開発促進のため、排出原単位作成ルールのガイドラインおよび排出原単位データベース整備等の調査検討等を行う。	1四半期
144	CN新技術に係るライフサイクルGHG排出量等の統一的な評価法の開発	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	インフラ整備におけるホールライフを対象としたGHG排出量評価法等の検討を行う。	1四半期
145	大雪時の交通対策等の経済効果に関する調査業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	大雪時の道路交通確保対策の実施による経済的損失抑制効果を試算するとともに、道路整備の効果指標として交通近接性の調査及び試算を行う。	1四半期
146	物流施策の経済効果に関する調査業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	物流に係る取組の評価指標等を整理するとともに、自動物流道路に転換する可能性のある貨物等の調査をする。	1四半期
147	造園分野のBIM/CIM導入に資する3次元モデル及び属性情報の作成業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、造園分野のBIM/CIM設計及び維持管理等に必要な主な3次元モデル（施設や樹木）と属性情報を作成し、BIM/CIMに導入可能な形で整理したうえで仮想の公園モデルへの導入を試行を行う。	1四半期
148	道路緑化における持続可能性の向上に関する調査業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、道路緑化樹木の生育を長期的に維持するための道路緑化手法に関して、樹種選択や植栽方法、維持管理方法等について整理する。	1四半期
149	街路樹の点検・診断方法に関する調査業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	本業務は、街路樹の台帳整備及び活用方法と、点検・診断を効率的に行うための技術の抽出と適応可能性について整理する。	1四半期
150	都市公園における再整備手法に関する検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、都市公園の再編・機能分担及びリノベーション手法等について体系的に整理し、基本的なあり方を示した技術資料案を作成する。	1四半期
151	都市公園における新技術の実装化に関する調査業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、都市公園において有用な新技術について、事例・ヒアリング調査を実施し、都市公園における新技術活用に関する技術資料案を作成する。	1四半期
152	歴史まちづくりの事業成果と関連施策の連携等に関する調査	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	本業務は、歴史まちづくり関連施策との連携方法や事業継続の利点を整理し、市町村が歴まち計画の事業を検討、実施する際の資料を作成する。	2四半期
153	表層土層厚の発達を考慮した生産土砂量予測手法に関する検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	表層土層厚の発達を考慮した表層崩壊および生産土砂量の予測手法について検討する。	1四半期
154	地震による斜面崩壊の生産土砂量および到達範囲に関する検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	地震時斜面崩壊について、機械学習等を活用し、生産土砂量および到達範囲について分析する。	1四半期
155	小規模流域での土砂・洪水氾濫による被害範囲・対策に関する検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	比較的小規模な流域における土砂・洪水氾濫対策手法について検討する。 比較的小規模な流域において地震や豪雨による生産土砂によって引き起こされる土砂・洪水氾濫対策手法について検討する。	1四半期
156	気候変動を踏まえた中山間地域における降雨量および降雨パターンの将来変化に関する検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	気候変動による影響を考慮し、中山間地域での降雨量、降雨パターンの将来変化に関する検討を行う。	1四半期
157	振動観測による土石流判別手法調査業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	土石流発生の地震動特性を分析し、継続的な観測体制の構築を行うため、現地観測および観測データの整理・分析を行う。	1四半期
158	流砂観測の高精度化に関する検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	流砂観測の高精度化に向けた検討を実施するため、水理特性に応じた水位計設置に関する検討を行う。	1四半期
159	土砂・洪水氾濫時に流出する流木の流下・堆積特性把握のための調査手法検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	流木調査マニュアル（案）に記載された調査項目および調査方法について記載事項の妥当性および改善点を検証し、流木調査マニュアル（案）の更新を行うものである。	1四半期
160	SfM/MVS技術を用いた河道閉塞（天然ダム）規模垂把握のための検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	河道閉塞（天然ダム）が形成された際、災害初動期においてSfM/MVS技術を活用した規模把握のための手法について検討を行う。	1四半期
161	河道閉塞（天然ダム）応急対策手法水理実験業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	河道閉塞（天然ダム）が形成された際の応急対策手法の検討のために、水理実験を行う。 手法の一つとして高吸水ポリマーを用いた手法について検討を行い有効性についての検討を行う。	1四半期
162	河道閉塞（天然ダム）応急対策事例収集・整理・分析業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	河道閉塞（天然ダム）形成時の応急対策実施時の基礎資料となるように、これまで発生した河道閉塞（天然ダム）に対して実施されてきた応急対策の事例を収集し、出水等により被災した事例も含めて整理を行う。それをもとに、被災理由の分析を行う。	1四半期
163	土石流・土砂流の被害範囲推定に関する検討業務	②簡易公募型 プロボ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	土石流の氾濫計算により、土石流による危険性の高いエリアを推定する手法を検討する。	1四半期

No.	業務の名称	対象業務 の区分	業務区分	履行期間	業務の概要	公示 予定時期
164	土石流の流下・堆積特性に関する実験業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	水路模型を用いて土石流を発生させ、土砂の堆積速度特性を把握するとともに得られたデータの整理分析を行う。	1四半期
165	流木の流下特性に関する実験業務	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	水路模型を用いて流木混じりの土石流を発生させ、その流下特性を把握するとともに得られたデータの整理分析を行う。	1四半期
166	山地流域の土砂流出特性に関する地形的分析	②簡易公募型 プロボ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	土砂・洪水氾濫が発生した流域における土砂流出特性について地形的に整理分析を行う。	1四半期